

大学番号 私立144

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

新潟国際情報大学 経営情報学部 情報システム学科
注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人新潟平成学院
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画推進課

職名・氏名 カチョウ セキカワ アユミ
課長 関川 歩

電話番号 025-239-3111
(夜間)

e-mail kikaku@nuis.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経営情報学部

＜情報システム学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人新潟平成学院

(2) 大学名

新潟国際情報大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒950-2292

新潟県新潟市西区みずき野3丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ホシノ ゲン) 星野 元 (平成29年12月)		
学長	(ノザキ シゲル) 野崎 茂 (平成30年4月)		
学部長	(コバヤシ ミツオ) 小林 満男 (平成30年4月)		
学科長等	(コバヤシ ミツオ) 小林 満男 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営情報学部 情報システム学科 学士（情報システム学）	経済学関係 工学関係	4	65	—	260		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	65 () []	() []	65 () []	() []	65 () []	() []	65 () []	() []	1.28倍	一倍	平成30年度開設
志願者数	() []	() []	294 () []	() []	376 () []	() []	314 () []	() []	384 () []	() []			
受験者数	() []	() []	286 () []	() []	367 () []	() []	307 () []	() []	369 () []	() []			
合格者数	() []	() []	115 () []	() []	106 () []	() []	126 () []	() []	107 () []	() []			
B 入学者数	() []	() []	84 () []	() []	85 () []	() []	82 () []	() []	83 () []	() []			
入学定員超過率 B/A			1.29		1.3		1.26		1.27				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	84 [-] (-)	— [-] (-)	85 [-] (-)	— [-] (-)	82 [-] (-)	— [-] (-)	83 [-] (-)	— [-] (-)	平成30年度 開設
2年次	/		— [-] (-)	— [-] (-)	82 [-] (-)	— [-] (-)	84 [-] (-)	— [-] (-)	82 [-] (-)	— [-] (-)	
3年次			/		— [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	81 [-] (-)	— [-] (-)	
4年次	/				/		— [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	
計			[] ()	[] ()			105 [-] (-)	167 [-] (-)	247 [-] (-)	329 [-] (-)	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	84 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	167 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	1 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	247 人	3 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	2 人	0 人	他大学受験、進路変更
			令和元年度	1 人	0 人	学業不振
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	329 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{84} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{167} = \boxed{0.59} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{247} = \boxed{1.21} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{329} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営情報学部 情報システム学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎	哲学	1・2・3・4前	2								1	
	倫理学	1・2・3・4前	2								1	
	文学	1・2・3・4前	2								1	
	法学	1・2・3・4前	2								1	
	憲法	1・2・3・4後	2								1	
	民法	1・2・3・4後	2								1	
	政治学	1・2・3・4前	2								1	
	平和学	1・2・3・4前	2								1	
	金融論	1・2・3・4前	2								1	
	財政学	1・2・3・4後	2								1	
	地球環境論	1・2・3・4後	2								1	
	資源とエネルギー	1・2・3・4前	2								1	
	国際経済学	1・2・3・4後	2								1	
	経済学（マクロ）	2前	2								1	
	経済学（ミクロ）	2後	2								1	
	新潟研究（自然と文化）	1・2・3・4前	2								2	
	新潟研究（政治と経済）	1・2・3・4後	2								2	
	国際交流フロンティア-演習1	1・2・3・4前	1								2	
	国際交流フロンティア-演習2	1・2・3・4前	1								2	
	ワークショップ実践論1	1・2・3・4後	2								2	
	ワークショップ実践論2	1・2・3・4後	2								2	
	基礎科目	保健体育	体力診断と運動処方1	1前	1		1					
		保健体育	体力診断と運動処方2	1後	1		1					
		保健体育	フィットネス理論及び実習	2前	1		1					
		就職	キャリア開発1	2後	1		1					1
		就職	キャリア開発2	3前	1		1					1
日本語・事情		日本語1	1・2・3・4前	1								1
	日本語2	1・2・3・4前	1								1	
	日本語3	1・2・3・4後	1								1	
	日本語4	1・2・3・4後	1								1	
	日本語事情1	1・2・3・4前	2								1	
	日本語事情2	1・2・3・4後	2								1	
学部基礎	講義・演習	統計学	1前	2							1	
	講義・演習	心理学	1・2・3・4後	2							1	
	講義・演習	社会学	1・2・3・4前	2							1	
	講義・演習	情報文化	1・2・3・4前	2		1					1	
	講義・演習	コミュニケーション論	1・2・3・4前	2							1	
	講義・演習	文章表現	1・2・3・4前	2							1	
	講義・演習	ヒトの情報処理	1・2・3・4後	2		1					1	
	講義・演習	科学と技術	1・2・3・4後	2		1					1	
	講義・演習	論理と数理	1・2・3・4前	2			1				1	
	講義・演習	線形数学	1・2・3・4後	2			1				1	
	講義・演習	数学基礎	1前	2							1	
	英語	英語1A (Reading 1)	1前	1			1					4
		英語1B (Speaking 1)	1前	1								6
		英語1C (Grammar 1)	1前	1			1					5
英語2A (Reading 2)		1後	1			1					4	
英語2B (Speaking 2)		1後	1								6	
英語2C (Grammar 2)		1後	1			1					5	
英語3A (Reading 3)		2前	1			1					4	
英語3B (Speaking 3)		2前	1								6	
英語4A (Reading 4)		2後	1			1					4	
英語4B (Speaking 4)		2後	1								6	
英語5A (Reading 5)		3前	1			1					5	
英語6A (Reading 6)	3後	1			1					5		
小計 (55科目)			15	40	0							

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎	哲学	1・2・3・4前	2								1	
	倫理学	1・2・3・4前	4前	2							1	
	文学	1・2・3・4前	2								1	
	法学	1・2・3・4後	2								1	
	憲法	1・2・3・4後	2								1	
	民法	1・2・3・4後	2								1	
	政治学	1・2・3・4前	2								1	
	平和学	1・2・3・4前	2								1	
	金融論	1・2・3・4前	2								1	
	財政学	1・2・3・4前	2								1	
	地球環境論	1・2・3・4後	2								1	
	資源とエネルギー	1・2・3・4前	2								1	
	国際経済学	1・2・3・4前	2								1	
	経済学（マクロ）	2前	2								1	
	経済学（ミクロ）	2後	2	2							1	
	新潟研究（自然と文化）	1・2・3・4後	2								2	
	新潟研究（政治と経済）	1・2・3・4後	2								2	
	国際交流フロンティア-1	1・2・3・4前	2								2	
	国際交流フロンティア-2	1・2・3・4前	2								2	
	フロンティア実践論1	1・2・3・4後	2								2	
	フロンティア実践論2	1・2・3・4後	2								2	
	フロンティア概論	1・2・3・4前	2								1	
	社会企業論	1・2・3・4後	2								1	
	ジャーナリズム論	1・2・3・4前	2								1	
	基礎科目	保健体育	体力診断と運動処方1	1前	1		1					
		保健体育	体力診断と運動処方2	1後	1		1					
保健体育		フィットネス理論及び実習	2前	1		1						
就職		キャリア開発1	2後	1							1	
就職		キャリア開発2	3前	1							1	
日本語・事情		日本語1	1・2・3・4前	1								1
	日本語2	1・2・3・4前	1								1	
	日本語3	1・2・3・4後	1								1	
	日本語4	1・2・3・4後	1								1	
	日本語事情1	1・2・3・4前	2								1	
	日本語事情2	1・2・3・4後	2								1	
学部基礎	講義・演習	統計学	1前	2							1	
	講義・演習	心理学	1・2・3・4後	2							1	
	講義・演習	社会学	1・2・3・4前	2							1	
	講義・演習	情報文化	1・2・3・4後	2							1	
	講義・演習	コミュニケーション論	1・2・3・4前	2							1	
	講義・演習	文章表現	1・2・3・4前	2							1	
	講義・演習	ヒトの情報処理	1・2・3・4後	2		1					1	
	講義・演習	科学と技術	1・2・3・4後	2		1					1	
	講義・演習	論理と数理	1・2・3・4前	2			1				1	
	講義・演習	線形数学	1・2・3・4後	2			1				1	
	講義・演習	数学基礎	1前	2							1	
	英語	英語1A (Reading 1)	1前	1			1					5
		英語1B (Speaking 1)	1前	1								6
		英語1C (Grammar 1)	1前	1			1					6
英語2A (Reading 2)		1後	1			1					5	
英語2B (Speaking 2)		1後	1								6	
英語2C (Grammar 2)		1後	1			1					6	
英語3A (Reading 3)		2前	1			1					5	
英語3B (Speaking 3)		2前	1								6	
英語4A (Reading 4)		2後	1			1					5	
英語4B (Speaking 4)		2後	1								6	
英語5A (Reading 5)		3前	1			1					5	
英語6A (Reading 6)	3後	1			1					5		
小計 (57科目)			15	43	0							

専 門 科 目	学 部 共 通	経営学入門	1前	2						1	
		経営管理論	1後	2						1	
		経営情報論	1後	2						1	
		マーケティング	2前	2						1	
		ビジネスモデル	2後	2	1						
		経営数学	3後	2						1	
		企業倫理	2後	2						1	
		情報システム	1前	2	1						
		情報論理	1後	2			1				
		情報とコンピューティング	1前	2	1						
		情報産業	1後	2	1						
		情報倫理	2前	2						1	
		情報論	2後	2	1						
		社会情報システム	3前	2						1	
		情報社会論	3後	2						1	
		人間工学	2前	2	1						
		地理情報システム	2前・後	2						1	
		認知科学	2後	2						1	
		健康スポーツ科学	2後	2						1	
		行動科学	3前	2						1	
		情報セキュリティ	3前	2	1						
		基礎ゼミナール1	1前	2		4				8	
		基礎ゼミナール2	1後	2		3	2	2		3	
		情報処理演習入門	1前	2						2	
		情報処理演習M	1前・後、2前・後	2						2	
		FP特論1	1前	2						1	
		FP特論2	1後	2						1	
		簿記基礎	1前	2						1	
		基本情報処理演習1	1前	2						1	
		基本情報処理演習2	1後	2						1	
		北米社会と情報	2前	2						1	
		情報英語	2前	4						1	
		学外実習	3前	2		8	2	2		11	
		専 門 科 目	講 義	コンピュータシステム	1後	2		1			
				システム数学	1後	2		1			
				ソフトウェア開発	2前	2			1		
				プログラミング入門	2前	2				1	
				オペレーティングシステム	2前	2				1	
				情報検索	2前	2		1			
				システム論	2前	2		1			
				オブジェクト指向開発概論	2後	2			1		
				ネットワークコンピューティング	2後	2				1	
				プログラミング環境	2後	2					1
				テレコミュニケーション	2後	2		1			
				情報システム設計	3前	2		1			
情報プロジェクト特論	3前			2		1					
マルチメディア情報	3前			2		1					
知識情報	3前			2				1			
データサイエンス	3前			2		1					
情報システム開発	3後			2		1					
コンピュータビジョン	3後			2				1			
人工知能	3後			2					1		
データベース論	3後			2		1					
応用統計学	3後			2		1					
演習・卒業研究・卒業論文	情報処理演習D			1前・後、2前・後	2		4				
	情報処理演習H			1前・後、2前・後	2		2	1	1		
	情報処理演習P1			1前・後、2前・後	2		1	2	1	1	
	情報処理演習P2			1前・後、2前・後	2				1	1	
	情報システム演習1			2前	2		3	1			
	情報システム演習2			2後	2		1	1	1		
	専門演習A			3前	1		4	2			
	専門演習D			3前	1		3	1	2		
	卒業研究1			3前	1		8	2	2		
	卒業研究2			3後	1		8	2	2		
	卒業研究3			4前	2		8	2	2		
	卒業研究4			4後	2		8	2	2		
	卒業論文			4後	4		8	2	2		

専 門 科 目	学 部 共 通	経営学入門	1前	2						1		
		経営管理論	1後	2						1		
		経営情報論	1後	2						1		
		マーケティング	2前	2						1		
		ビジネスモデル	2後	2	1							
		経営数学	3後	2						1		
		企業倫理	2後	2						1		
		情報システム	1前	2				1				
		情報論理	1後	2					1			
		情報とコンピューティング	1前	2				1				
		情報産業	1後	2				1				
		情報倫理	2前	2				1				
		情報論	2後	2				1				
		社会情報システム	3前	2						1		
		情報社会論	3後	2						1		
		人間工学	2前	2				1				
		地理情報システム	2後	2						1		
		認知科学	2後	2						1		
		健康スポーツ科学	2後	2						1		
		行動科学	3前	2						1		
		情報セキュリティ	3前	2				1				
		基礎ゼミナール1	1前	2				5		7		
		基礎ゼミナール2	1後	2				4	1	7		
		情報処理演習入門	1前	2						3		
		情報処理演習M	1前・後、2後	2						2		
		FP特論1	1前	2						1		
		FP特論2	1後	2						1		
		簿記基礎	1前	2						1		
		基本情報処理演習1	1前	2						1		
		基本情報処理演習2	1後	2						1		
		北米社会と情報	2前	2						1		
		情報英語	2前	4						1		
		学外実習	3前	2				9	2	1		
		専 門 科 目	講 義	コンピュータシステム	1後	2				1		
				システム数学	1後	2					1	
				ソフトウェア開発	2前	2				1		
				プログラミング入門	2前	2					1	
				オペレーティングシステム	2前	2					1	
				情報検索	2前	2				1		
				システム論	2前	2				1		
				オブジェクト指向開発概論	2後	2					1	
				ネットワークコンピューティング	2後	2					1	
				プログラミング環境	2後	2					1	
				テレコミュニケーション	2後	2				1		
				情報システム設計	3前	2						1
情報プロジェクト特論	3前			2				1				
マルチメディア情報	3前			2				1				
知識情報	3前			2					1			
データサイエンス	3前			2				1				
情報システム開発	3後			2				1				
コンピュータビジョン	3後			2					1			
人工知能	3後			2					1			
データベース論	3後			2						1		
応用統計学	3後			2				1				
演習・卒業研究・卒業論文	情報処理演習D			1前・後、2前・後	2			3		1		
	情報処理演習H			1前・後、2前・後	2			2	1			
	情報処理演習P1			1前・後、2前・後	2			2	1		2	
	情報処理演習P2			1前・後、2前・後	2			1	1			
	情報システム演習1			2前・後	2			3		1		
	情報システム演習2			2前・後	2			4	2			
	専門演習A			3前	1			3				
	専門演習D			3前	1					1		
	卒業研究1			3前	1			8	1	1		
	卒業研究2			3後	1			8	1	1		
	卒業研究3			4前	2			9	2	1		
	卒業研究4			4後	2			9	2	1		
	卒業論文			4後	4			9	2	1		

小計 (51科目)	23	44	0						
合計 (106科目)	38	84	0						
卒業要件及び履修方法									
基礎科目34単位以上 (必修14単位を含む)、専門科目92単位以上 (必修46単位、選択必修5単位を含む) を修得し、合計126単位以上修得すること。(履修登録の上限: 22単位 (1セメスター))									

小計 (51科目)	23	44	0						
自由科目 デジタル戦略論	1後								1
合計 (126科目)	38	87	1						
卒業要件及び履修方法									
基礎科目34単位以上 (必修14単位を含む)、専門科目92単位以上 (必修46単位、選択必修5単位を含む) を修得し、合計126単位以上修得すること。(履修登録の上限: 22単位 (1セメスター))									

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎	哲学	1-2-3-4前	2								1	
	倫理学	1-2-3-4前	2								1	
	文学	1-2-3-4前	2								1	
	法学	1-2-3-4前	2								1	
	憲法	1-2-3-4後	2								1	
	民法	1-2-3-4後	2								1	
	政治学	1-2-3-4後	2								1	
	平和学	1-2-3-4前	2								1	
	金融論	1-2-3-4前	2								1	
	財政学	1-2-3-4後	2								1	
	地球環境論	1-2-3-4後	2								1	
	資源とエネルギー	1-2-3-4前	2								1	
	国際経済学	1-2-3-4後	2								1	
	経済学 (マクロ)	2前	2								1	
	経済学 (ミクロ)	2後	2								1	
	新潟研究 (自然と文化)	1-2-3-4前	2								2	
	新潟研究 (政治と経済)	1-2-3-4後	2								2	
	国際交流(英語)演習1	1-2-3-4前	1								1	
	国際交流(英語)演習2	1-2-3-4前	1								1	
	ワークショップ実践論1	1-2-3-4後	2								1	
ワークショップ実践論2	1-2-3-4後	2								1		
基礎科目	保健体育	体力診断と運動処方1	1前	1		1						
	体力診断と運動処方2	1後	1		1							
	フィットネス理論及び実習	2前	1		1							
	就職	キャリア開発1	2後	1		1						
	キャリア開発2	3前	1		1							
	日本語・事情	日本語1	1-2-3-4前	1								1
		日本語2	1-2-3-4前	1								1
		日本語3	1-2-3-4後	1								1
		日本語4	1-2-3-4後	1								1
		日本事情1	1-2-3-4前	2								1
日本事情2		1-2-3-4後	2								1	
講義・演習	統計学	1前	2								1	
	心理学	1-2-3-4後	2								1	
	社会学	1-2-3-4前	2								1	
	情報文化	1-2-3-4前	2			1						
	コミュニケーション論	1-2-3-4前	2								1	
	文章表現	1-2-3-4前	2								1	
	ヒトの情報処理	1-2-3-4後	2			1						
	科学と技術	1-2-3-4後	2			1						
	論理と数理	1-2-3-4前	2			1						
	線形数学	1-2-3-4後	2			1						
数学基礎	1前	2								1		
英語	英語1A (Reading 1)	1前	1			1					4	
	英語1B (Speaking 1)	1前	1								6	
	英語1C (Grammar 1)	1前	1			1					5	
	英語2A (Reading 2)	1後	1			1					4	
	英語2B (Speaking 2)	1後	1								6	
	英語2C (Grammar 2)	1後	1			1					5	
	英語3A (Reading 3)	2前	1			1					4	
	英語3B (Speaking 3)	2前	1								6	
	英語4A (Reading 4)	2後	1			1					4	
	英語4B (Speaking 4)	2後	1								6	
	英語5A (Reading 5)	3前	1			1					5	
	英語6A (Reading 6)	3後	1			1					5	
小計 (55科目)		15	40	0								

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎	哲学	1-2-3-4前	2								1	
	倫理学	2-3-4前	2								1	
	文学	1-2-3-4前	2								1	
	法学	1-2-3-4前	2								1	
	憲法	1-2-3-4後	2								1	
	民法	1-2-3-4後	2								1	
	政治学	1-2-3-4後	2								1	
	平和学	1-2-3-4前	2								1	
	金融論	1-2-3-4前	2								1	
	財政学	1-2-3-4後	2								1	
	地球環境論	1-2-3-4後	2								1	
	資源とエネルギー	1-2-3-4前	2								1	
	国際経済学	1-2-3-4後	2								1	
	経済学 (マクロ)	2後	2								1	
	経済学 (ミクロ)	2後	2								1	
	新潟研究 (自然と文化)	1-2-3-4前	2								2	
	新潟研究 (政治と経済)	1-2-3-4後	2								2	
	国際交流(英語)演習1	1-2-3-4前	2								2	
	国際交流(英語)演習2	1-2-3-4前	2								2	
	フロンティア実践論1	1-2-3-4後	2								2	
フロンティア実践論2	1-2-3-4後	2								2		
フロンティア概論	1-2-3-4後	2								2		
社会企業論	1-2-3-4後	2								1		
ジャーナリズム論	1-2-3-4前	2								1		
基礎科目	保健体育	体力診断と運動処方1	1前	1		1						
	体力診断と運動処方2	1後	1		1							
	フィットネス理論及び実習	2前	1		1							
	就職	キャリア開発1	2後	1		1						
	キャリア開発2	3前	1		1							
	日本語・事情	日本語1	1-2-3-4前	1								1
		日本語2	1-2-3-4前	1								1
		日本語3	1-2-3-4後	1								1
		日本語4	1-2-3-4後	1								1
		日本事情1	1-2-3-4前	2								1
日本事情2		1-2-3-4後	2								1	
講義・演習	統計学	1前	2								1	
	心理学	1-2-3-4後	2								1	
	社会学	1-2-3-4前	2								1	
	情報文化	1-2-3-4前	2			1						
	コミュニケーション論	1-2-3-4前	2								1	
	文章表現	1-2-3-4前	2								1	
	ヒトの情報処理	1-2-3-4後	2			1						
	科学と技術	1-2-3-4後	2			1						
	論理と数理	1-2-3-4前	2			1						
	線形数学	1-2-3-4後	2			1						
数学基礎	1前	2								1		
英語	英語1A (Reading 1)	1前	1			1					4	
	英語1B (Speaking 1)	1前	1								6	
	英語1C (Grammar 1)	1前	1			1					5	
	英語2A (Reading 2)	1後	1			1					4	
	英語2B (Speaking 2)	1後	1								6	
	英語2C (Grammar 2)	1後	1			1					5	
	英語3A (Reading 3)	2前	1			1					4	
	英語3B (Speaking 3)	2前	1								6	
	英語4A (Reading 4)	2後	1			1					4	
	英語4B (Speaking 4)	2後	1								6	
	英語5A (Reading 5)	3前	1			1					5	
	英語6A (Reading 6)	3後	1			1					5	
小計 (58科目)		15	43	0								

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	講義・演習	哲学	1・2・3・4前	2							1	
		倫理学	3・4前	2							1	
		文学	1・2・3・4前	2							1	
		法学	1・2・3・4後	2							1	
		憲法	1・2・3・4後	2							1	
		民法	1・2・3・4後	2							1	
		政治学	1・2・3・4前	2							1	
		平和学	1・2・3・4前	2							1	
		金融論	1・2・3・4前	2							1	
		財政学	1・2・3・4前	2							1	
		地球環境論	1・2・3・4後	2							1	
		資源とエネルギー	1・2・3・4前	2							1	
		国際経済学	1・2・3・4前	2							1	
		経済学（マクロ）	2前	2							1	
		経済学（ミクロ）	2後	2							1	
		新潟研究（自然と文化）	1・2・3・4後	2							2	
		新潟研究（政治と経済）	1・2・3・4後	2							2	
		国際交流フロンティア1	1・2・3・4前	2							2	
		国際交流フロンティア2	1・2・3・4前	2							2	
		フロンティア実践論1	1・2・3・4後	2							2	
		フロンティア実践論2	1・2・3・4後	2							2	
	フロンティア概論	1・2・3・4前	2							1		
	社会企業論	1・2・3・4後	2							1		
	ジャーナリズム論	1・2・3・4前	2							1		
	保健体育	体力診断と運動処方1	1前	1		1					1	
		体力診断と運動処方2	1後	1		1					1	
		フィットネス理論及び実習	2前	1		1						
	就職	キャリア開発1	2後	1							1	
		キャリア開発2	3前	1							1	
	日本語・事情	日本語1	1・2・3・4前	1							1	
		日本語2	1・2・3・4前	1							1	
		日本語3	1・2・3・4後	1							1	
		日本語4	1・2・3・4後	1							1	
		日本事情1	1・2・3・4前	2							1	
		日本事情2	1・2・3・4後	2							1	
	講義・演習	統計学	1前	2							1	
		心理学	1・2・3・4後	2							1	
		社会学	1・2・3・4前	2							1	
		情報文化	1・2・3・4後	2							1	
		コミュニケーション論	1・2・3・4前	2							1	
		文章表現	1・2・3・4前	2							1	
		ヒトの情報処理	1・2・3・4後	2			1					
		科学と技術	1・2・3・4後	2			1					
		論理と数理	1・2・3・4前	2			1					
		線形数学	1・2・3・4後	2			1					
		数学基礎	1前	2			1					
		英語	英語1A (Reading 1)	1前	1			1				4
			英語1B (Speaking 1)	1前	1							6
	英語1C (Grammar 1)		1前	1							6	
	英語2A (Reading 2)		1後	1			1				4	
	英語2B (Speaking 2)		1後	1							6	
	英語2C (Grammar 2)		1後	1							6	
	英語3A (Reading 3)		2前	1			1				4	
	英語3B (Speaking 3)		2前	1							6	
	英語4A (Reading 4)		2後	1			1				4	
	英語4B (Speaking 4)		2後	1							6	
	英語5A (Reading 5)		3前	1							6	
	英語6A (Reading 6)		3後	1							6	
小計 (58科目)			15	43	0							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・ 基礎科目、全学基礎科目の配当年次の変更は、担当者(兼任)が海外研修中のため。
- ・ 担当者の変更理由は、以下のとおり。
- ①基礎科目、全学基礎科目4科目については、担当者(兼任)の都合により「2」→「1」に変更。
- ②専門科目、学部共通科目中「基礎ゼミナール1」「同2」は、それぞれ専任担当を充実。「情報処理演習入門」「同M」は非常勤(兼任)の都合により変更。
- ・ 授業科目の変更や新規科目の追加はなし。

【令和元年度】

- 全学基礎科目**
- ・ 配当の変更「倫理学」を1・2・3・4から2・3・4に変更。
 - ・ 兼任教員退職により「国際経済学」を兼任、「経済学(マクロ)」を兼任及び開講を後期に変更。
 - ・ 授業科目の名称を「国際交流インストラクター演習1・2」から「国際交流ファシリテーター1・2」及び兼任1から2に変更。「ワークショップ実践論1・2」から「ファシリテーション実践論1・2」及び兼任1から2に変更。
 - ・ 授業科目の新設「ファシリテーション概論」を全学基礎科目に新設。
 - ・ 授業科目の移動「社会企業論」、「ジャーナリズム論」を国際学部基礎科目から全学基礎科目に変更。
- 学部基礎科目**
- ・ 兼任教員退職により「科学と技術」を兼任教授に変更。
- 専門科目**
- ・ 専任教授退職により「経営情報論」を専任准教授1、「情報倫理」を兼任教授1、「流通論」を専任准教授1に変更。「学外実習」を専任教授1減、専任准教授1減、兼任11に変更。「応用ゼミナール1」、「研究ゼミナール1・3」専任教授1減に変更。「基礎ゼミナール1」を専任教授1減、専任准教授1減、兼任4に変更。「基礎ゼミナール2」を兼任4に変更。「情報処理演習M」を兼任2に変更。専任准教授海外研修により「簿記基礎」、「財務会計論」の開講を後期に変更。

【令和2年度】

- 全学基礎科目**
- ・ 配当の変更「倫理学」を2・3・4から3・4に変更。
 - ・ 兼任准教授海外研修により「法学」の開講を後期に変更。
 - ・ 「政治学」、「財政学」、「国際経済学」、「ファシリテーション概論」の開講を前期に変更。
 - ・ 「経済学(マクロ)」を兼任及び開講を前期に変更。
 - ・ 「新潟研究(自然と文化)」の開講を後期に変更。
 - ・ 「体力診断と運動処方1・2」、「キャリア開発1・2」を兼任に変更。
- 学部基礎科目**
- ・ 兼任教授退職により「情報文化」を兼任及び開講を後期に変更。
 - ・ 「英語10・20・5A・6A」を専任准教授から兼任に変更。
- 専門科目**
- ・ 「経営管理論」の開講を前期に変更。
 - ・ 「企業倫理」を兼任に変更。
 - ・ 「情報倫理」を専任教授に変更。
 - ・ 「地域情報システム」を後期に変更。
 - ・ 「基礎ゼミナール1」を専任教授5、兼任6に変更。
 - ・ 「基礎ゼミナール2」を兼任6に変更。
 - ・ 「情報処理演習M」を1前・後、2後に変更。
 - ・ 「簿記基礎」の開講を前期に変更。
 - ・ 「学外実習」を専任教授9、専任准教授1、兼任10に変更。
 - ・ 専任教授海外研修により「システム数学」、「データサイエンス」、「応用統計学」の開講を後期に変更。
 - ・ 「テレコミュニケーション」を専任教授1に変更。
 - ・ 「情報システム設計」、「データベース論」を専任講師に変更。
 - ・ 「情報処理演習D」を専任教授2に変更。
 - ・ 「情報処理演習H」を専任教授1に変更。
 - ・ 「情報処理演習P1」を専任教授2に変更。
 - ・ 「情報システム演習1」を専任教授3に変更。
 - ・ 「情報システム演習2」を専任教授1に変更。
 - ・ 「専門演習A」を専任教授3に変更。
 - ・ 「専門演習D」を専任教授1から専任准教授1に変更。
 - ・ 「卒業研究1・3」を専任教授8、専任准教授1、専任講師2に変更。
 - ・ 「卒業研究2・4」、「卒業論文」を専任教授9、専任准教授1、専任講師2に変更。

【令和3年度】

<p>全学基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配当の変更「倫理学」を3・4から4に変更。 ・ 「英語1A・2A・3A・4A」を専任准教授から兼任に変更。 <p>専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「経営管理論」の開講を後期に変更。 ・ 「経営組織論」の開講を後期に変更。 ・ 「基礎ゼミナール1」の兼任7に変更。 ・ 「基礎ゼミナール2」の兼任7に変更。 ・ 「学外実習」を専任教授9、専任准教授2、専任講師1、兼任11に変更。 ・ 「知識情報」、「人工知能」を専任准教授に変更。 ・ 「情報処理演習D」を専任教授3、専任講師1に変更。 ・ 「情報処理演習H」を専任教授2に変更。 ・ 「情報処理演習P1」を専任教授2、専任准教授1に変更。 ・ 「情報処理演習P2」を専任教授1、専任准教授1に変更。 ・ 「情報システム演習1」を専任教授3、専任講師1に変更。 ・ 「情報システム演習2」を専任教授4、専任准教授2、専任講師1に変更。 ・ 「卒業研究1・2」を専任教授8、専任准教授1、専任講師1に変更。 ・ 「卒業研究3・4」、「卒業論文」を専任教授9、専任准教授2、専任講師1に変更。 <p>自由科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「デジタル戦略論」を後期に開講、兼任が担当

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	78 科目	0 科目	106 科目	38 科目 [+ 10]	87 科目 [+ 9]	1 科目 [+ 1]	126 科目 [+ 20]	(3)

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{106} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	48,327.31 m ²	0 m ²	0 m ²	48,327.31 m ²			
	運動場用地	22,197.00 m ²	0 m ²	0 m ²	22,197.00 m ²			
	小 計	70,524.31 m ²	0 m ²	0 m ²	70,524.31 m ²			
	そ の 他	13,754.85 m ²	0 m ²	0 m ²	13,754.85 m ²			
	合 計	84,279.16 m ²	0 m ²	0 m ²	84,279.16 m ²			
(2) 校 舎		専 用 20,721.98 m ² (20,721.98 m ²)	共 用 m ² (m ²)	共用する他の学校等の専用 m ² (m ²)	計 20,721.98 m ² (20,721.98 m ²)	学生食堂、学生会館、雪冷房設備（雪室）含む		
(3) 教 室 等	講 義 室 47 室	演 習 室 12 室	実験実習室 1 室	情報処理学習施設 9 室 (補助職員一人)	語学学習施設 3 室 (補助職員一人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 経営情報学部 経営学科			室 数 12 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能のため、大学全体の数。 電子ジャーナルパッケージ (ProQuest) を2020年3月末で中止したためタイトル数が減少中止の理由：①収録タイトルの重複が多いため②費用削減のため利用率が低いものを中止(3)。 (2) 電子ジャーナル要約分を削除(元)
	経営情報学部	139,042 [14,971] (139,158 [13,793]) (132,856 [13,606]) (129,433 [13,559]) (126,717 [13,490])	1,880 [290] (1,869 [288]) (1,863 [290]) (1,859 [290]) (1,823 [273])	12,229 [10,360] (7,600 [7,524]) (12,332 [12,271]) (12,520 [12,451]) (22,360 [22,290])	4,344 (4,287) (4,254) (3,997) (3,905)	1,726 (1,900) (1,900) (1,900) (1,900)	0 (0) (0) (0) (0)	
	計	139,042 [14,971] (139,158 [13,793]) (132,856 [13,606]) (129,433 [13,559]) (126,717 [13,490])	1,880 [290] (1,869 [288]) (1,863 [290]) (1,859 [290]) (1,823 [273])	12,229 [10,360] (7,600 [7,524]) (12,332 [12,271]) (12,520 [12,451]) (22,360 [22,290])	4,344 (4,287) (4,254) (3,997) (3,905)	1,726 (1,900) (1,900) (1,900) (1,900)	0 (0) (0) (0) (0)	
(6) 図 書 館	面 積 2,000 m ²	閱 覧 座 席 数 258	収 納 可 能 冊 数 127,677	書架増設のため(3) 大学全体 123,000				
(7) 体 育 館	面 積 1,992.85 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要 テニスコート3面				大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	経費の見積りは大学全体、電子ジャーナル・データベースの整備費用(運用コスト)を含む。 (2)
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	470千円	470千円	図書購入費	10,450千円	10,450千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	35,000千円	35,000千円	
	学生1人当り納付金	1,175千円	1,075千円	1,075千円	1,075千円	千円	千円	
	1,125千円	1,025千円	1,025千円	1,025千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要 私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(3)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	新潟国際情報大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
情報文化学部											
情報システム学科	4	—	—	—	学士 (情報システム)	—	—	—	平成6年度	新潟県新潟市西区みずき野3-1-1	平成30年度より学生募集停止
情報文化学科	4	—	—	—	学士 (情報文化)	—	—	—	平成6年度	同上	平成26年度より学生募集停止
国際学部											
国際文化学科	4	100	—	400	学士 (国際文化)	1.25	1.26	—	平成26年度	新潟県新潟市西区みずき野3-1-1	平成26年4月開設
経営情報学部											
経営学科	4	85	—	340	学士 (経営学)	1.25	1.28	—	平成30年度	新潟県新潟市西区みずき野3-1-1	平成30年4月開設
情報システム学科	4	65	—	260	学士 (情報システム学)	1.28	1.27	—	平成30年度	同上	平成30年4月開設
大学の名称	〇〇短期大学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
該当なし	年	人	年次人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経営情報学部 情報システム学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専	教授	小林 満男 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)	情報システム 中小企業論 情報システム開発 基礎ゼミナール1 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	小林 満男 (63) <平成30年4月> 博士(経済学)	情報システム 中小企業論 情報システム開発 基礎ゼミナール2 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	小林 満男 (64) <平成30年4月> 博士(経済学)	情報システム 中小企業論 テレコミュニケーション 情報システム開発 基礎ゼミナール2 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	小林 満男 (65) <平成30年4月> 博士(経済学)	情報システム 人的資源管理 中小企業論(担当せず) テレコミュニケーション(担当せず) 情報システム開発 基礎ゼミナール1 データベース論(担当せず) 専門演習A(担当せず) 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	小林 満男 (66) <平成30年4月> 博士(経済学)	情報システム 人的資源管理 中小企業論(担当せず) テレコミュニケーション(担当せず) 情報システム開発 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 専門演習A(担当せず) 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文
専	教授	宇田 隆幸 (56) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報とコンピューティング 情報システム設計 データベース論 基礎ゼミナール1 情報処理演習D 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	宇田 隆幸 (56) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報とコンピューティング 情報システム設計 データベース論 基礎ゼミナール1(担当せず) 情報処理演習D 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	宇田 隆幸 (57) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報とコンピューティング 情報倫理 テレコミュニケーション 情報システム設計 データベース論 基礎ゼミナール1 情報処理演習D 情報処理演習P1 情報処理演習P2 専門演習A(担当せず) 専門演習D(担当せず) 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	宇田 隆幸 (58) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報とコンピューティング(担当せず) 情報倫理 情報倫理 テレコミュニケーション(担当せず) 情報システム設計(担当せず) データベース論(担当せず) 基礎ゼミナール1 情報処理演習D 情報処理演習P1 情報処理演習P2(担当せず) 専門演習A(担当せず) 専門演習D(担当せず) 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	宇田 隆幸 (59) <平成30年4月> 博士(情報科学)	情報とコンピューティング(担当せず) 情報倫理 情報倫理 テレコミュニケーション(担当せず) 情報システム設計(担当せず) データベース論(担当せず) 基礎ゼミナール1 情報処理演習D 情報処理演習P1 情報処理演習P2(担当せず) 専門演習A(担当せず) 専門演習D(担当せず) 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文
専	教授	上西園 武良 (66) <平成30年4月> 博士(学術)	ヒトの情報処理 人間工学 基礎ゼミナール1 情報処理演習D 情報システム演習1 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	上西園 武良 (67) <平成30年4月> 博士(学術)	ヒトの情報処理 人間工学 基礎ゼミナール1 情報処理演習D 情報システム演習1 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	上西園 武良 (68) <平成30年4月> 博士(学術)	ヒトの情報処理 科学と技術 人間工学 基礎ゼミナール1 情報処理演習D(担当せず) 情報システム演習1(担当せず) 情報システム演習2(担当せず) 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	上西園 武良 (69) <平成30年4月> 博士(学術)	ヒトの情報処理 科学と技術 人間工学 基礎ゼミナール1 情報処理演習D(担当せず) 情報システム演習1(担当せず) 情報システム演習2 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文				
専	教授	桑原 悟 (61) <平成30年4月> 工学修士	ビジネスモデル 情報セキュリティ マルチメディア情報 基礎ゼミナール2 情報処理演習P1 情報システム演習1 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	桑原 悟 (61) <平成30年4月> 工学修士	ビジネスモデル 情報セキュリティ マルチメディア情報 基礎ゼミナール2 情報処理演習P1(担当せず) 情報システム演習1 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	桑原 悟 (62) <平成30年4月> 工学修士	ビジネスモデル 情報セキュリティ マルチメディア情報 基礎ゼミナール2 情報処理演習P1 情報システム演習1 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	桑原 悟 (63) <平成30年4月> 工学修士	ビジネスモデル 情報セキュリティ マルチメディア情報 基礎ゼミナール2 情報処理演習P1(担当せず) 情報システム演習1 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	桑原 悟 (64) <平成30年4月> 工学修士	ビジネスモデル 情報セキュリティ マルチメディア情報 基礎ゼミナール2 情報処理演習P1(担当せず) 情報システム演習1 専門演習A 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文
専	教授	近藤 進 (69) <平成30年4月> 博士(工学)	科学と技術 システム論 テレコミュニケーション 基礎ゼミナール1 情報処理演習H 専門演習D 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文	専	教授	近藤 進 (69) <平成30年4月> 博士(工学)	科学と技術 システム論 テレコミュニケーション 基礎ゼミナール1 情報処理演習H 専門演習D 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文												
						未定 () <令和元年9月>					安藤 寛也 (56) <令和元年9月> 博士(工学)				数学基礎 システム論 テレコミュニケーション 基礎ゼミナール1(担当せず) 基礎ゼミナール2(担当せず) 情報処理演習H 情報システム演習1 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文				
				専			システム論 情報処理演習H 学外実習 卒業研究2 卒業研究4 卒業論文				安藤 寛也 (56) <令和元年9月> 博士(工学)		専	教授	数学基礎 システム論 テレコミュニケーション 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 情報システム演習1 学外実習 卒業研究1 卒業研究2 卒業研究3 卒業研究4 卒業論文				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	阿部 聡 (40) <平成30年4月> 修士(文学)	英語1A (Reading1) 英語1C (Grammar1) 英語2A (Reading2) 英語2C (Grammar2) 英語3A (Reading3) 英語4A (Reading4) 英語5A (Reading5) 英語6A (Reading6) 北米社会と情報 情報英語 学外実習	兼任	准教授	阿部 聡 (40) <平成30年4月> 修士(文学)	英語1A (Reading1) 英語1C (Grammar1) 英語2A (Reading2) 英語2C (Grammar2) 英語3A (Reading3) 英語4A (Reading4) 英語5A (Reading5) 英語6A (Reading6) 北米社会と情報 情報英語 学外実習	兼任	准教授	阿部 聡 (42) <平成30年4月> 修士(文学)	英語1A (Reading1) 英語1C (Grammar1) (担当せず) 英語2A (Reading2) 英語2C (Grammar2) (担当せず) 英語3A (Reading3) 英語4A (Reading4) 英語5A (Reading5) (担当せず) 英語6A (Reading6) (担当せず) 北米社会と情報 情報英語 学外実習 (担当せず)	兼任	准教授	阿部 聡 (43) <平成30年4月> 修士(文学)	英語1A (Reading1) 英語1C (Grammar1) 英語2A (Reading2) 英語2C (Grammar2) 英語3A (Reading3) 英語4A (Reading4) 英語5A (Reading5) 英語6A (Reading6) 北米社会と情報 情報英語 学外実習 (担当せず)
兼任	准教授	伊村 知子 (39) <平成30年4月> 博士(心理学)	統計学 心理学 認知科学 基礎ゼミナール1 学外実習												
兼任	准教授	佐々木 実之 (44) <平成30年4月> 博士(文学)	統計学 心理学 認知科学 基礎ゼミナール1 学外実習	兼任	准教授	佐々木 実之 (45) <平成30年4月> 博士(文学)	統計学 心理学 認知科学 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 学外実習	兼任	准教授	佐々木 実之 (46) <平成30年4月> 博士(文学)	統計学 心理学 認知科学 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 学外実習	兼任	准教授	佐々木 実之 (47) <平成30年4月> 博士(文学)	統計学 心理学 認知科学 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 学外実習
兼任	准教授	小宮山 智志 (48) <平成30年4月> 社会学修士	社会学 行動科学 情報社会論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 学外実習	兼任	准教授	小宮山 智志 (48) <平成30年4月> 社会学修士	社会学 行動科学 情報社会論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習	兼任	准教授	小宮山 智志 (49) <平成30年4月> 社会学修士	社会学 経営情報論 行動科学 情報社会論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習	兼任	准教授	小宮山 智志 (51) <平成30年4月> 社会学修士	社会学 経営情報論 行動科学 情報社会論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習
兼任	准教授	佐々木 桐子 (46) <平成30年4月> 経営学修士	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 学外実習	兼任	准教授	佐々木 桐子 (46) <平成30年4月> 経営学修士	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習	兼任	准教授	佐々木 桐子 (47) <平成30年4月> 経営学修士	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習	兼任	准教授	佐々木 桐子 (48) <平成30年4月> 経営学修士	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習
兼任	准教授	藤田 美幸 (49) <平成30年4月> 博士(経済学)	マーケティング 基礎ゼミナール1 学外実習	兼任	准教授	藤田 美幸 (50) <平成30年4月> 博士(経済学)	マーケティング 基礎ゼミナール1 学外実習	兼任	准教授	藤田 美幸 (51) <平成30年4月> 博士(経済学)	マーケティング 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習	兼任	准教授	藤田 美幸 (52) <平成30年4月> 博士(経済学)	マーケティング 基礎ゼミナール1 (担当せず) 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習
兼任	准教授	山下 功 (45) <平成30年4月> 修士(経営学)	簿記基礎 基礎ゼミナール1 学外実習	兼任	准教授	山下 功 (45) <平成30年4月> 修士(経営学)	簿記基礎 基礎ゼミナール1 学外実習	兼任	准教授	山下 功 (46) <平成30年4月> 修士(経営学)	簿記基礎 基礎ゼミナール1 (担当せず) 学外実習 (担当せず)	兼任	准教授	山下 功 (47) <平成30年4月> 修士(経営学)	簿記基礎 基礎ゼミナール1 (担当せず) 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習
兼任	講師	柳田 志学 (41) <平成30年4月>	経営学入門 基礎ゼミナール2 学外実習												
兼任	講師	土屋 剛 (29) <平成30年4月> 博士(経営学)	経営学入門 学外実習	兼任	講師	土屋 剛 (30) <平成30年4月> 博士(経営学)	経営学入門 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 学外実習	兼任	講師	土屋 剛 (31) <平成30年4月> 博士(経営学)	経営学入門 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 学外実習	兼任	講師	土屋 剛 (32) <平成30年4月> 博士(経営学)	経営学入門 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 (担当せず) 学外実習
兼任	教授	越智 敏夫 (56) <平成30年4月> 法学修士	政治学	兼任	教授	越智 敏夫 (57) <平成30年4月> 法学修士	政治学	兼任	教授	越智 敏夫 (58) <平成30年4月> 法学修士	政治学	兼任	教授	越智 敏夫 (59) <平成30年4月> 法学修士	政治学
兼任	教授	佐々木 寛 (51) <平成30年4月> 法学修士	平和学 国際交流の1/19外-演習1【隔年】 国際交流の1/19外-演習2【隔年】 ワークショップ実践論1【隔年】 ワークショップ実践論2【隔年】 (担当せず)	兼任	教授	佐々木 寛 (51) <平成30年4月> 法学修士	平和学 国際交流の1/19外-演習1【隔年】 国際交流の1/19外-演習2【隔年】 ワークショップ実践論1【隔年】 ワークショップ実践論2【隔年】 (担当せず)	兼任	教授	佐々木 寛 (52) <平成30年4月> 法学修士	平和学 国際交流の1/19外-演習1【隔年】 国際交流の1/19外-演習2【隔年】 ワークショップ実践論1【隔年】 ワークショップ実践論2【隔年】 (担当せず)	兼任	教授	佐々木 寛 (53) <平成30年4月> 法学修士	平和学 国際交流の1/19外-演習1【隔年】 国際交流の1/19外-演習2【隔年】 ワークショップ実践論1【隔年】 ワークショップ実践論2【隔年】 (担当せず)
兼任	教授	澤口 晋一 (59) <平成30年4月> 博士(地理学)	地球環境論 資源とエネルギー 新潟研究(自然と文化)※	兼任	教授	澤口 晋一 (59) <平成30年4月> 博士(地理学)	地球環境論 資源とエネルギー 新潟研究(自然と文化)※	兼任	教授	澤口 晋一 (60) <平成30年4月> 博士(地理学)	地球環境論 資源とエネルギー 新潟研究(自然と文化)※	兼任	教授	澤口 晋一 (61) <平成30年4月> 博士(地理学)	地球環境論 資源とエネルギー 新潟研究(自然と文化)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	矢口 裕子 (57) <平成30年4月> 文学修士	文学
兼任	准教授	安藤 潤 (50) <平成30年4月> 修士(経済学)	国際経済学 経済学(マクロ)
兼任	准教授	熊谷 卓 (49) <平成30年4月> 修士(法学)	法学 憲法
兼任	講師	山田 裕史 (40) <平成30年4月> 博士(地域研究)	国際交流のひろがり-演習1【隔年】 国際交流のひろがり-演習2【隔年】 ワークショップ実践論1【隔年】 ワークショップ実践論2【隔年】
兼任	講師	阿部 ふく子 (37) <平成30年4月>	哲学 倫理学
兼任	講師	石畠 剛士 (42) <平成30年4月>	民法
兼任	講師	牧野 智一 (40) <平成30年4月>	金融論
兼任	講師	齋藤 忠夫 (71) <平成30年4月>	財政学
兼任	講師	榎岸 聡人 (41) <平成30年4月>	財政学
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>	国際経済学
兼任	講師	長谷川 雷子 (48) <平成31年4月>	経済学(マクロ)
兼任	講師	濱田 弘潤 (45) <平成30年4月>	経済学(ミクロ)
兼任	講師	池田 哲夫 (67) <平成30年4月>	新潟研究(自然と文化)※
兼任	講師	大塚 清一郎 (51) <平成30年4月>	新潟研究(政治と経済)※
兼任	講師	中川 一好 (50) <平成30年4月>	新潟研究(政治と経済)※
兼任	講師	夏井 隆三 (60) <平成31年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	相田 晃 (50) <平成31年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	矢口 裕子 (57) <平成30年4月> 文学修士	文学
兼任	准教授	安藤 潤 (50) <平成30年4月> 修士(経済学)	国際経済学 経済学(マクロ)
兼任	准教授	熊谷 卓 (49) <平成30年4月> 修士(法学)	法学 憲法
兼任	講師	山田 裕史 (40) <平成30年4月> 博士(地域研究)	国際交流のひろがり-演習1【隔年】 国際交流のひろがり-演習2【隔年】 ワークショップ実践論1【隔年】 ワークショップ実践論2【隔年】
兼任	講師	阿部 ふく子 (37) <平成30年4月>	哲学 倫理学
兼任	講師	石畠 剛士 (42) <平成30年4月>	民法
兼任	講師	牧野 智一 (40) <平成30年4月>	金融論
兼任	講師	榎岸 聡人 (41) <平成30年4月>	財政学
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>	国際経済学
兼任	講師	長谷川 雷子 (48) <平成31年4月>	経済学(マクロ)
兼任	講師	濱田 弘潤 (45) <平成30年4月>	経済学(ミクロ)
兼任	講師	池田 哲夫 (67) <平成30年4月>	新潟研究(自然と文化)※
兼任	講師	大塚 清一郎 (51) <平成30年4月>	新潟研究(政治と経済)【単独で担当】
兼任	講師	夏井 隆三 (60) <平成31年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	相田 晃 (50) <平成31年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	矢口 裕子 (58) <平成30年4月> 文学修士	文学
兼任	准教授	熊谷 卓 (50) <平成30年4月> 修士(法学)	法学 憲法
兼任	准教授	山田 裕史 (41) <平成30年4月> 博士(地域研究)	国際交流フロンティア-1【隔年】 国際交流フロンティア-2【隔年】 フロンティアの実践論1【隔年】 フロンティアの実践論2【隔年】
兼任	講師	阿部 ふく子 (38) <平成30年4月>	哲学 倫理学
兼任	講師	石畠 剛士 (43) <平成30年4月>	民法
兼任	講師	牧野 智一 (41) <平成30年4月>	金融論
兼任	講師	榎岸 聡人 (42) <平成30年4月>	財政学
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>	国際経済学
兼任	講師	長谷川 雷子 (48) <平成31年4月>	経済学(マクロ)
兼任	講師	濱田 弘潤 (46) <平成30年4月>	経済学(ミクロ)
兼任	講師	池田 哲夫 (68) <平成30年4月>	新潟研究(自然と文化)※
兼任	講師	夏井 隆三 (61) <平成31年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	相田 晃 (51) <平成31年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	矢口 裕子 (59) <平成30年4月> 文学修士	文学
兼任	准教授	熊谷 卓 (51) <平成30年4月> 修士(法学)	法学 憲法
兼任	准教授	山田 裕史 (42) <平成30年4月> 博士(地域研究)	国際交流フロンティア-1【隔年】 国際交流フロンティア-2【隔年】 フロンティアの実践論1【隔年】 フロンティアの実践論2【隔年】
兼任	講師	阿部 ふく子 (39) <平成30年4月>	哲学 倫理学
兼任	講師	石畠 剛士 (44) <平成30年4月>	民法
兼任	講師	牧野 智一 (42) <平成30年4月>	金融論
兼任	講師	榎岸 聡人 (43) <平成30年4月>	財政学
兼任	講師	中尾 将人 (33) <令和元年9月>	国際経済学
兼任	講師	長谷川 雷子 (49) <平成31年4月>	経済学(マクロ)
兼任	講師	濱田 弘潤 (48) <平成30年4月>	経済学(ミクロ)
兼任	講師	池田 哲夫 (69) <平成30年4月>	新潟研究(自然と文化)※
兼任	講師	夏井 隆三 (61) <平成31年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	相田 晃 (51) <平成31年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	矢口 裕子 (60) <平成30年4月> 文学修士	文学
兼任	准教授	熊谷 卓 (52) <平成30年4月> 修士(法学)	法学 憲法
兼任	准教授	山田 裕史 (43) <平成30年4月> 博士(地域研究)	国際交流フロンティア-1【隔年】 国際交流フロンティア-2【隔年】 フロンティアの実践論1【隔年】 フロンティアの実践論2【隔年】
兼任	講師	阿部 ふく子 (40) <平成30年4月>	哲学 倫理学
兼任	講師	石畠 剛士 (45) <平成30年4月>	民法
兼任	講師	牧野 智一 (43) <平成30年4月>	金融論
兼任	講師	榎岸 聡人 (44) <平成30年4月>	財政学
兼任	講師	中尾 将人 (34) <令和元年9月>	国際経済学
兼任	講師	長谷川 雷子 (50) <平成31年4月>	経済学(マクロ)
兼任	講師	濱田 弘潤 (48) <平成30年4月>	経済学(ミクロ)
兼任	講師	高橋 穂子 (58) <令和2年9月>	新潟研究(自然と文化)※
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)
兼任	講師	未定 () <令和3年4月>	新潟研究(政治と経済)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名
兼任	講師	吉田 正之 (57) <平成30年4月>	企業倫理	兼任	講師	吉田 正之 (57) <平成30年4月>	企業倫理						兼任	講師	田中 公夫 (64) <令和3年4月>
兼任	講師	小菅 京子 (46) <平成30年4月>	情報処理演習入門 情報処理演習M	兼任	講師	小菅 京子 (46) <平成30年4月>	情報処理演習入門 情報処理演習M						兼任	講師	英語1C (Grammar1) 英語2D (Grammar2) 英語3A (Reading3) 英語4A (Reading4) 英語5A (Reading5) 英語6A (Reading6)
兼任	講師	今井 真由美 (54) <平成30年4月>	情報処理演習入門 情報処理演習M	兼任	講師	今井 真由美 (54) <平成30年4月>	情報処理演習入門 情報処理演習M						兼任	講師	小菅 京子 (49) <平成30年4月>
				兼任	講師	小林 淳子 (46) <平成30年4月>	情報処理演習入門 情報処理演習M (担当せず)						兼任	講師	今井 真由美 (57) <平成30年4月>
				兼任	講師	小林 淳子 (47) <平成30年4月>	情報処理演習入門						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
				兼任	講師	小林 淳子 (48) <平成30年4月>	情報処理演習入門						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
兼任	講師	田中 陽子 (68) <平成30年4月>	FP特論1 FP特論2	兼任	講師	田中 陽子 (68) <平成30年4月>	FP特論1 FP特論2						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
													兼任	講師	今井 真由美 (57) <平成30年4月>
													兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
													兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
													兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
兼任	講師	本間 久文 (66) <平成30年4月>	基本情報処理演習1 基本情報処理演習2	兼任	講師	本間 久文 (66) <平成30年4月>	基本情報処理演習1 基本情報処理演習2						兼任	講師	小林 淳子 (49) <平成30年4月>
兼任	講師	佐藤 徳子 (56) <平成30年4月>	情報処理演習P1	兼任	講師	佐藤 徳子 (56) <平成30年4月>	情報処理演習P1						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
兼任	講師	林 貴宏 (42) <平成30年4月>	情報処理演習P2	兼任	講師	林 貴宏 (42) <平成30年4月>	情報処理演習P1 情報処理演習P2 (担当せず)						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
				兼任	講師	伊藤 剛 (22) <平成30年4月>	情報処理演習P2						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
				兼任	講師	奥山 隆史 (23) <平成30年4月>	情報処理演習P2						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
				兼任	講師	佐藤 大 (23) <平成30年4月>	情報処理演習P1						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
				兼任	講師	松田 直也 (22) <平成30年4月>	情報処理演習P1						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
				兼任	講師	吉田 大一 (24) <平成30年4月>	情報処理演習P1						兼任	講師	情報処理演習入門 情報処理演習M
													兼任	講師	三河 寛治 (49) <令和2年4月>
													兼任	講師	今井 博英 (50) <令和3年4月>

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、置百時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の誕生日を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

該当なし

【令和元年度】

- ・専任教授(近藤進)定年により退職。後任 令和元年9月補充予定。
- ・兼任教授(岸野清孝)定年により退職。後任 令和元年9月補充予定。
- ・兼任准教授(安藤潤)割愛により退職。後任 兼任講師(長谷川雪子)補充済。
- ・兼任講師(大塚清一郎)離職。後任 兼任講師(夏井陽三、相田晃)補充済。
- ・授業科目新設により兼任講師(中原滯佳)を補充済。
- ・授業科目の移動により兼任講師(三上杏里、一戸信哉)を配置。
- ・授業科目を専任教員が担当により兼任講師(吉田正之、伊藤翔、奥山隆史、佐藤大、松田直也、吉田太一)離職。

【令和2年度】

- ・専任教授(高木義和)定年により退職。後任(講師、宮北和之)補充済。1科目については兼任講師(種田和義)を配置。
- ・兼任教授(白井健二)定年により退職。後任 令和2年9月補充予定。2科目については兼任講師(田中環、鈴木広樹)を配置。
- ・兼任講師(田中陽子)離職。後任 兼任講師(山崎有希)補充済。
- ・授業科目の担当未定に兼任講師(中尾将人)を配置。
- ・授業科目の専任教員から兼任講師(亀岡雅紀、山崎祥子、高橋正平)を配置。

【令和3年度】

- ・専任教授(西山茂)定年により退職。後任(教授、梅原英一)補充済。
- ・令和2年度退職専任教授(白井健二)の後任(教授、木村誠)補充済。
- ・兼任講師(池田哲夫)離職。後任 兼任講師(高橋郁子)補充済。
- ・兼任講師(亀岡雅紀)離職。専任教授(藤瀬武彦)が担当
- ・兼任講師(種田和義)離職。後任 兼任講師(鈴木聖二)補充済。
- ・兼任講師(マイケルシナトラ)離職。後任 兼任講師(アランボテロ)補充済。
- ・兼任講師(高橋正平)離職。後任 兼任講師(恩田公夫)補充済。
- ・兼任講師(三河寛治)離職。後任 兼任講師(今井博英)補充済。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	2	2	0	12	0	9	2	1	0	12	0
(8)	(2)	(2)	(0)	(12)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	2	1	0	12	0	9	2	1	0	12	0
[+1]	[±0]	[-1]	[±0]	[±0]	(0)	[+1]	[±0]	[-1]	[±0]	[±0]	(0)

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	0	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1							該当なし（30）			
2							該当なし（元）			
3							該当なし（2）			
4							該当なし（3）			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1							該当なし（30）			
2							該当なし（元）			
3							該当なし（2）			
4							該当なし（3）			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{12} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1						該当なし (30)							
2	教授	近藤 進	選択	科学と技術	①	H31.3.31付け70歳で定年退職 (元)							
			選択	システム論	③								
			選択	テレコミュニケーション	①								
			必修	基礎ゼミナール1	③								
			選択	情報処理演習H	③								
			選択	専門演習D	①								
			選択	学外実習	①								
			必修	卒業研究1	③								
			必修	卒業研究2	①								
			必修	卒業研究3	③								
			必修	卒業研究4	①								
3	教授	高木 義和	選択	情報文化	②	R2.3.31付け70歳で定年退職 (2)							
			選択	情報論	①								
			選択	情報検索	①								
			必修	基礎ゼミナール1	①								
			必修	基礎ゼミナール2	①								
			選択	情報処理演習D	①								
			選択	情報システム演習1	①								
			選択	学外実習	①								
			必修	卒業研究1	①								
			必修	卒業研究2	①								
			必修	卒業研究3	①								
			必修	卒業研究4	①								
			必修	卒業論文	①								
			4	教授	西山 茂		選択	情報産業	①	R3.3.31付け70歳で定年退職 (3)			
選択	コンピュータシステム	①											
選択	情報プロジェクト特論	①											
必修	基礎ゼミナール1	①											
必修	情報システム演習1	①											
必修	専門演習A	①											
選択	学外実習	①											
必修	卒業研究1	①											
必修	卒業研究2	①											
必修	卒業研究3	①											
必修	卒業研究4	①											
必修	卒業論文	①											
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)						
3	人	必修	21	科目	必修	18	科目	必修	0	科目	必修	3	科目
		選択	16	科目	選択	13	科目	選択	1	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	37	科目	計	31	科目	計	1	科目	計	5	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 辞任者の担当科目は専任及び兼任の教員が担当し専門性も問題なし。また、開講時期を後期に変更する措置をした。HPや講義概要等により担当者の変更を告知しており、学生への周知も問題なし。(元)
- ・ 辞任者の担当科目は専任及び兼任の教員が担当し専門性も問題なし。また、開講時期を後期に変更する措置をした。HPや講義概要等により担当者の変更を告知しており、学生への周知も問題なし。(2)
- ・ 辞任者の担当科目は専任の教員が担当し専門性も問題なし。HPや講義概要等により担当者の変更を告知しており、学生への周知も問題なし。(3)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	情報システム学科は、完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運営に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 留意事項	現在、教員組織編成の将来構想を検討中。 履行中	平成30年度末に定年退職予定者1名あり。定年延長の予定はなく、若い教員を公募で採用する計画。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	情報システム学科は、完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運営に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 留意事項	現在、付帯事項を踏まえ教員公募を行っている。 履行中	平成31年度4月での採用に至らなかったため、後期に採用する計画。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	情報システム学科は、完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運営に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 留意事項	付帯事項を踏まえた教員の採用が行われた。 履行中	令和2年度末に退職予定者がいるが、定年延長は行わず、教員組織構成に支障のない教員を公募で採用する計画。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	情報システム学科は、完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運営に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 留意事項	付帯事項を踏まえた教員の採用が行われた。 履行中	引き続き退職予定者の定年延長は行わず、教員組織構成に支障のない教員を公募で採用する計画。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営情報学部 情報システム学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD・中期計画推進委員会（令和2年4月名称変更）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和2年度 8回開催（委員長、委員及び事務局担当者出席）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画及び実施に関すること ・報告書等の作成 ・調査・研究 ・教育内容及び教育環境の改善 ・教育技法の改善・向上のための具体的活動 ・学生による授業評価の実施・結果公表と授業の改善 ・教員の資質開発を図るための組織的な研修 ・その他FD推進 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業を設計する際の工夫と実践例・事例報告 ①村上 正行氏（大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 教授）講演 根岸 千悠氏（大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 助教）講演 演題：『オンライン授業の設計・実践・評価を考える』 ②国際学部1名ならびに経営情報学部1名の教員が『オンライン授業実施例』の教育改善事例を報告 <p>b 実施方法 オンラインによる講演を本学会議室及び研究室にて視聴・事例発表・意見交換</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和2年12月2日実施、海外研修中の者を除き全員参加</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 講演、事例等を参考に各自対面・オンライン・ハイブリット授業改善の取組みを進行中</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 WEBによる授業アンケートを前期及び後期に実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート結果は集計後、総評を教授会にて報告。担当教員に結果をフィードバック</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ・ 経営情報学部情報システム学科の志願者、受験者数は第二・第三志願者数を含め384人、369人であった。合格者数107人、入学者数83人であり、入学定員充足率は1.27であったことから、設置の趣旨ならびに目的は達成できたと考えられる。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・ 平成26年度公益財団法人 日本高等教育評価機構による評価を受審。「適合」の認定を受ける。平成27年4月に本学ホームページに公開済。
- b 公表方法
- ・ 平成27年4月に大学ホームページ上に公開済。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・ 今年度、学内の自己点検・評価を実施予定。
令和3年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和3年度）
- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- 《aで「有」の場合》
- b 公表（予定）時期 [~~調査結果公表後1ヶ月以内~~ ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [~~ウェブサイトへの掲載~~ ・ その他 ()]
- 《aで公表「無」の場合》
- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。